

**製品名: DGK-κ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09954**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	142kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DGKK
別名	DGKK; Diacylglycerol kinase kappa; DAG kinase kappa; 142 kDa diacylglycerol kinase; Diglyceride kinase kappa; DGK-kappa
遺伝子 ID	139189.0
SwissProt ID	Q5KSL6
免疫原	抗血清はヒト DGKK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1221-1270

**背景**

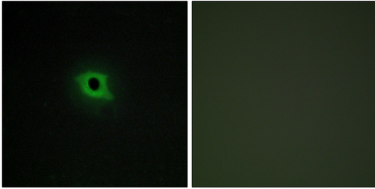
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジアシルグリセロールをリン酸化してホスファチジン酸に変換する酵素です。コー

ドされるタンパク質は膜タンパク質であり、過酸化水素によって阻害されます。この遺伝子の変異は尿道下裂と関連付けられています。[RefSeq 提供、2011年3月],触媒活性:  $ATP + 1,2\text{-ジアシルグリセロール} = ADP + 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸}$ 。酵素調節:  $H_2O_2$  に反応して阻害される。機能: ジアシルグリセロール (DAG) をリン酸化してホスファチジン酸 (PA) を生成する。PTM: SRC ファミリーの一部のメンバーによって  $H_2O_2$  に反応して Tyr-78 がリン酸化される。類似性: 真核生物のジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属する。類似性: 1つの DAGKc ドメインを含む。類似性: 1つの PH ドメインを含む。類似性: 2つのホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット: ホモオリゴマーを形成しない。組織特異性: 精巣で発現し、胎盤でもわずかに発現する。

## 研究分野

-

## 画像データ



DGKK 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。